

# 自閉症スペクトラム障害 ファクトシート

## 自閉症スペクトラム障害って何？

自閉症スペクトラム障害 (ASD) は脳の障害により生じる発達障害です。現在の医学ではまだ何が原因なのか特定できていません。ASDは人によって軽いケースもあれば、重い ケースもあり、異なるレベルで機能的能力に影響を及ぼします。ほとんどのケースではASDの障害者は外見적으로는 通 の人とは変わらないのですが、コミュニケーション、交流、素行、学習の仕方などが一般の人とは異なります。ASDを 持つ人の思考や学習能力は才能に恵まれるケースもあれば障 害があるケースもあり、人によって大きく異なります。自閉 症障害はASDの中でも最も知られている症状だが、他にも 特定不能の広汎性発達障害(PDD-NOS) やアスペルガー症候 群など、幾つもの障害があります。

## ASDはどのような兆候があるの？

ASDを持っている人は社会的、感情的、又はコミュニケー ション能力に問題がある場合があります。ある特定の行動 を繰り返して行ったり、日周活動を変えたがらないなども 兆候として見られます。その他にもASDを持っている人は 学習、集中、物事への反応のしかたが一般の人とは異なる 場合があります。ASDは幼少のころから発生し、一生を通して直ることはありません。

## ASDを持っている子供や大人は下記のような行動をする場合 があります：

- 架空や創造して遊ばない (例えば人形にご飯を上げる振りを する等)
- 興味を示す為に指を刺さない (頭上を飛ぶ飛行機に指を刺す)
- 他の人が物を指差すとそれを見ない
- 他の人とうまく折り合わなかったり他の人に興 味を一切持た ない
- 他の人と視線を合わせるのを避けたり一 人になりたがる
- 自分に言われた事場やフレーズを繰り返 したり、普通の言語 の変わりに同じ言葉 やフレ ーズ を繰り返し使う (反響言語)
- 他の人に抱かれたり寄り添られるのを嫌い、 又は自分がしたい時だけに寄り添う



- 他の人が話しかけると気づかないがその他の音には反応する
- 他の人にすごく興味を持つが、その相手と話したり、遊んだり、関係を持つしかたが分からない
- 他の方の気持ちを理解するのが難しかったり、自分の気持ちを伝えるのが苦手
- 普通の言葉やそぶりで自分の要求等を表すのが苦手
- 同じ行動を何度も繰り返す
- 習慣の変更に適応するのが苦手
- 物の匂い、味、外観、感触、音などに異常な反応をする
- 以前あったスキルをなくす (例えば以前使っていた言葉を使わなくなる等)

## もし私の子供がASDを持っていると思ったらどうしたらいいの？

お子さんの医者や看護婦と相談してください。医者の判断を仰ぎ、問題があるようでしたら、発達小児科医やその他の専門医へ紹介してもらるか、最寄の医療介入施設(3歳以下のお子さんの場合)、又は公立学校(3歳以上のお子さんの場合)に連絡してください。最寄の相談室を調べるにはウェブで障害のある児童や若年者の情報ナショナルセンター (National Information Center for Children and Youth with Disabilities (NICHCY)) [www.nichcy.org](http://www.nichcy.org) へ行って調べるか、1-800-695-0285へ電話して調べてください。又、疾病対策予防センター(CDC)の自閉症インフォメーションセンターウェブサイト ([www.cdc.gov/ncbddd/dd/aic/resources](http://www.cdc.gov/ncbddd/dd/aic/resources))に障害所の家族に役立つ情報が載っているリンクが記載されています。現在ではASDの主流の研究ベースの治療方はスキルの集中的な計画的教授、又は行動的介入と呼ばれている手法です。お子さんの潜在能力を最大限に開花させるにはこの介入を寄り早く始めることがとても重要です。早めの行動が貴方のお子さんの未来を変えます!



兆候を知ろう。行動はお早めに。

1-800-CDC-INFO [www.cdc.gov/actearly](http://www.cdc.gov/actearly)